



活動目標項目	内容	評価指標	指標定義・説明	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度目標値	備考
1-5	資料の安全な保管 第1～第3の各収蔵庫や展示室の点検や資料燻蒸等により、収蔵資料の安全な保管を図ります。	資料燻蒸の実施	当該年度における、収蔵庫燻蒸ならびに燻蒸庫燻蒸の実施状況	6/14-21に実施	6/12-19に実施	6/11-17に実施	6/10-16に実施	収蔵庫燻蒸(1回/年)	第二収蔵庫及び常設展示室2階Cコーナー動物剥製：使用薬剤：アルブ(第二収蔵庫)ブンガノン+ライセンス(2階Dコーナー) 年2回：使用薬剤：エキヒュームS
				2/21-27に3回実施	10/23-26、2/21-23に実施	10/29-11/2、2/27-3/1に実施	10/28-11/1、2/19-2/21に実施	燻蒸庫燻蒸(2回以上/年)	
		管理に注意を要する収蔵資料の保管	当該年度における、注意を要する収蔵資料の保管状況の点検	点検年2回	点検年2回	点検年2回	点検年2回	点検2回/年	平成24年度より実施 点検月 8月 2月
		基準標本の保管	当該年度における、基準標本の保管状況	基準標本77点(2月末日確認)	基準標本78点(2月末日確認)	基準標本80点(2月末日確認)	基準標本80点(2月末日確認)	点検1回/年	点検月 2月 正基準標本39点 等価基準標本1点 従基準標本27点 従基準標本(別性)12点 同地基準標本1点
		天然記念物の保管	当該年度における、天然記念物の保管状況	国・県指定天然記念物標本25点(2月末日確認)	国・県指定天然記念物標本25点(2月末日確認)	国・県指定天然記念物標本25点(2月末日確認)	国・県指定天然記念物標本25点(2月末日確認)	点検1回/年	点検月 2月 国指定特別天然記念物6点 国指定天然記念物10点 県指定天然記念物9点
		展示室における保管	館職員による点検状況	1回/月実施	1回/月実施	1回/月実施	1回/月実施	1回/月	点検結果については、館内供覧を実施し、常設展担当者が取り纏めている。
1-6	常設展示室の資料保存環境の改善 常設展示室での安全な資料の保存環境を確保します。	文化財害虫への対策	常設展示資料への燻蒸実施状況、貴重資料の燻蒸ならびに館内における文化財害虫等の忌避対策の実施状況	常設展示室2階Cコーナー奥の剥製を収蔵庫燻蒸時燻蒸した	常設展示室2階Dコーナー類人猿ターンテーブルを収蔵庫燻蒸時燻蒸した	常設展示室2階Dコーナー類人猿ターンテーブルを収蔵庫燻蒸時燻蒸した	常設展示室2階Cコーナー動物剥製を収蔵庫燻蒸時燻蒸した	貴重資料の燻蒸(1回/年)	使用薬剤：ブンガノン+ライセンス
				・除塵粘着シートのマットを設置	・除塵粘着シートのマットを設置	・除塵粘着シートのマットを設置	・除塵粘着シートのマットを設置	忌避対策(2回/年)	
		温・湿度の管理	展示室内の温・湿度の管理実施状況	年報記載(季節による2℃in temp. -3%RH.の範囲内の变化あり)	年報記載(季節による2℃in temp. -3%RH.の範囲内の变化あり)	年報記載(季節による2℃in temp. -3%RH.の範囲内の变化あり)	年報記載(季節による2℃in temp. -3%RH.の範囲内の变化あり)	1F展示室、2F展示室、企画展示室、エトワンスホール	
1-7	収蔵スペースの確保 将来の収蔵資料の増加に備え、収蔵スペースの確保に向けた方策を探ります。	館外保管施設	当該年度における、館外保管施設の使用状況	前年度から継続して、富岡土木事務所倉庫2の2階と、群馬県富岡合同庁舎3階(旧食堂)を使用	前年度から継続して、富岡土木事務所倉庫2の2階と、群馬県富岡合同庁舎3階(旧食堂)を使用	前年度から継続して、富岡土木事務所倉庫2の2階と、群馬県富岡合同庁舎3階(旧食堂)を使用	前年度から継続して、富岡土木事務所倉庫2の2階と、群馬県富岡合同庁舎3階(旧食堂)を使用	当該年度の継続状況	

活動目標項目		内容	評価指標	指標定義・説明	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度目標値	備考
1-7	収蔵スペースの確保	将来の収蔵資料の増加に備え、収蔵スペースの確保に向けた方策を探ります。	収蔵設備の拡張	館内外を含め、標本収蔵設備の確保についての検討状況	Cコーナートイレ外のウッドデッキスペースが収蔵スペースになるかの調査を行った。	他館への情報収集等	他館への情報収集等	他館への情報収集等	本項目と関係する予算項目の設置	群馬県富岡合同庁舎3階(旧レストラン)に一区画の収蔵スペースを確保できた。ただし、湿度管理はできない。
1-8	展示における公開促進	館内の常設展示や企画展での展示、ならびに他館展示への貸出などに用いることにより、収蔵資料の活用を図ります。	常設展示室展示資料更新件数	当該年度に常設展示の更新を実施した件数	5件/年	70件	14件	6件	5件/年	常設展示リニューアル中
			企画展展示資料点数	当該年度の企画展に展示された収蔵資料数(本館収蔵の展示資料数)	第52回約190点(約59点) 第53回308点(248点) 特別展示(ぐんまのいま)70点(70点) 特別展示(開館20周年記念)約500点(約500点)	第54回約450点(約400点) 第55回250点(221点) 第56回535点(264点) 特別展示約500点(460点)	第55回223点(100点) 第56回480点(478点) 第57回561点(317点) 特別展示約500点(460点)	第59回516点(317点) 第60回3325点(1606点) 第61回361点(359点) 特別展示約300点	150点/年	※24年度より、継続する春の企画展は前年度でカウント ※エントランスなどのミニ展示での資料展示数は入れていない。
			展示のための貸出件数	当該年度に、展示を目的として貸し出された資料の件数	26件：合計点数は227点	24件：合計点数は415点	29件：合計点数は260点	26件：合計点数は256点	実績値を記入	
			移動博物館等での利用点数	当該年度に移動博物館や共催事業で利用した資料の点数	303点/年	276点/年	374点/年	374点/年	100点/年	・移動博324点 ・他館連携出前授業での展示資料数約50点 ※年報「他館連携出前教室」博物館資料点数の記入場所なし、数値を記入すべき場所の確保が必要
1-9	レファレンスのための資料公開の促進	外部研究者やマスメディア等からの要望に基づいて、特別観覧等により収蔵資料の適切な活用を図ります。	研究目的の特別観覧件数	当該年度に許可した、研究目的の特別観覧件数	特別観覧8件	特別観覧13件	特別観覧13件	特別観覧15件	実績値を記入	
			研究目的の特別観覧に基づく研究成果の公表状況	当該年度に公表された、特別観覧に基づく研究成果の件数	不明	不明	不明	不明	実績値を記入	該当年度での発表は難しいとも思われるため、『今年度までの特別観覧に基づく研究成果の件数』への変更が良いと思われます。
			その他の特別観覧件数	当該年度に許可した非研究目的(マスメディア等)の特別観覧件数	特別観覧1件	特別観覧2件	特別観覧5件	特別観覧2件	実績値を記入	
			外部データベースへの標本情報提供数	SNet、GBIF等の外部データベースに新規公開した収蔵情報件数	4500件	3700件	3800件	3200件	3200件/年	科学系博物館情報ネットワークより

2 調査研究 (「魅力を引き出す博物館」)

活動目標項目		内容	評価指標	指標定義・説明	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度目標値	備考
2-1	調査研究活動の推進	自然史調査研究および分野別調査研究等を積極的に行い、群馬県における自然史調査研究、博物館学の専門機関として中核を担う活動を推進します。	自然史調査研究の実施状況	定点地域における動植物、古生物、岩石・鉱物等の組織的な調査	調査回数：36回	23回	59回	70回	実績値	
			分野別調査研究の実施状況	職員の担当業務に関する調査	10分野21調査	9/20分野	9/20 分野	16分野40研究	実績値	
			一般県民等との協働調査の実施状況	一般県民等との連携件数	3件	3件	5件／ 年報に疑問提案あり	4件/年	3件/年	情報提供含む
2-2	調査研究成果の公表	館出版物による研究成果の公表および、学会発表、学術論文等により調査研究成果を公表するとともに、展示や教育普及活動を通して成果の活用を図ります。	図書・雑誌等の一般著述	本、雑誌、新聞等での一般向け解説	26本／年	11件	10件	14件	10件/年	テレビ番組での解説を含む
			学会等での発表	各種学会、研究会での口頭、ポスター発表等の総数	12回／年	11件	29件	26件	10件/年	
			学術論文、報告数	論文、報告の総数	16本／年	21本／年	26本／年	18本/年	10本/年	評価指標原簿85～87の計
			展示活動	展示の件数	4件／年	3回	回	2回/年	2回/年	館内：ケントリオドン、 館外：富岡市立美術博物館
			教育普及活動	講演会・講座などの件数	19件／年	24件	31件	29件	10件/年	
2-3	外部研究機関等との連携の推進	他の博物館、研究機関、試験研究機関、大学、研究団体、学会等と連携した調査研究等を推進します。	連携調査研究数	博物館、研究機関、試験研究機関等との連携推進	41研究	42件	24件	46件	実績値	
2-4	外部資金の獲得による調査研究事業の推進	(独)日本学術振興会の補助金、民間・行政等の研究助成金等の外部資金を獲得し、調査研究活動を推進します。	(独)日本学術振興会申請・採択数	文部科学省・独立行政法人日本学術振興会の科学研究費補助金、奨励研究費	申請1・採択0 (継続1)	申請1・採択0 (継続1)	申請1・採択0 (継続1)	申請1・採択0 (継続1)	実績値	評価指標原簿#99, #100
			その他調査研究助成金獲得状況		13件	18件	24件	21件	実績値	

## 3 展示

〔知を広め、高める博物館〕

活動目標項目		内容	評価指標	指標定義・説明	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度目標値	備考
3-1	常設展の改善・充実	新規資料の追加・更新、研究成果の反映、展示方法の改善などにより、来館者の満足度の向上を図ります。	観覧者数	年間の観覧者数	21万2000人	20万9000人	22万人	20万5千人	20万人	
			リピーター率	アンケート回答者に占めるリピーターの割合	64%	60%	63%	58%	60%	
			来館者の満足度	アンケート回答者による満足度の評価	89%	91%	90%	95%	95%	
			追加・更新資料数	常設展における資料の追加・更新資料数	6点	40点	53点	54点	50点	
3-2	常設展の保守・点検の充実	常に理想的な状態で来館者の方に展示を見ていただけるように心がけます	迅速な障害対応		229件	241件	188件	年報に記載無し		
			展示室内の点検	解説員・案内員による展示室内のチェック 展示担当者による展示室内のチェック	随時	随時	随時	随時	随時	
			展示資料周辺の清掃	定期的な清掃	各担当ごとに1回/週	各担当ごとに1回/週	各担当ごとに1回/週	各担当ごとに1回/週	各担当ごとに1回/週	
					各担当ごとに1回/月	各担当ごとに1回/月	各担当ごとに1回/月	各担当ごとに1回/月	各担当ごとに1回/月	
3-3	魅力ある企画展・特別展の開催	来館者のニーズに応え、最新の研究成果を反映し、また、多様なテーマの魅力ある企画展・特別展を実施します。	企画展満足度	企画展アンケート回答者による満足度の評価	77%	93%	97%	90%	90%	
			企画展等実施回数	企画展示室での企画展・特別展等の実施回数	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年	
3-4	多様な展示の開催促進	常設展・企画展以外にも、適宜魅力ある情報の提供を心がけます	展示開催回数		5回	7回/年	4回/年	4回/年	4回/年	
3-5	館外での展示の充実	館内にとどまらず、館外での展示の促進・充実を図ります。	実施回数	移動博物館など、館外での展示回数	6回	6回/年	6回/年	7回/年	7回/年	
			観覧者の満足度	アンケート回答者による満足度の評価	不明	—	—	100%	100%	
3-6	解説業務の充実	解説業務の充実を図り、観覧者の満足度の向上を図ります	展示解説の実施状況	定時解説の実施状況	3768人/年	2258人/年	3680人/年	2076人/年	3000人/年	
				随時解説の実施状況	44,613人/年	38,670人/年	40,843人/年	35,736人/年	40,000人/年	
				スポット解説の実施状況	不明	—	—	—	—	学校団体のみデータあり
			観覧者満足度	アンケートにおける解説業務の満足度	不明	100%	100%	100%	100%	
			解説・接遇研修の実施	研修の実施回数	22回	25回	20回	20回	20回	
解説業務の質的向上	解説業務自己研修職員によるクオリティチェック	随時	随時	随時	随時	随時				
3-7	常設展のリニューアルに向けての取り組みの推進	開館20周年を目標として、常設展示のリニューアルを行うため、リニューアルに向けた計画・検討作業を促進します	リニューアルに向けた他館調査	先進地視察	随時	随時	随時	随時	随時	



4 教育普及 (「知を広め、知を高める博物館」)

活動目標項目	内容	評価指標	指標定義・説明	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度目標値	備考		
4-1	学びの魅力を感じられる事業の推進	県民のニーズを把握するとともに、多様な普及事業を企画し、多様な学習の機会を提供します。	普及事業実施件数	普及事業件数 (サイエンスサタデーを除く)	51件	51件	50件	43件	50件	ファミリー自然観察会、天体観望会、講演会、自然教室、博物館探検隊、ナイトツアー、バックヤードツアー、教職員実技研修会、大人の自然史倶楽部*年報(教育普及事業(2)の②~⑦)、⑩⑫⑭、教員研修	
			普及事業参加者数	サイエンスサタデー件数	48件	47件	48件	42件	48件		
				ビデオ上映会件数	200件	189件	208件	193件	175件	年報	
			参加者の満足度	普及事業参加者数	普及事業参加者数 (サイエンスサタデーを除く)	1401名	1299名	1445名	1351名	1400名	*と同じ
				サイエンスサタデー参加者数	1810名	2045名	1957名	1904名	1700名		
				ビデオ上映会参加者数	6883名	4358名	4923名	4433名	4000名	年報	
			事後アンケート(抽出)による満足回答者の割合	98%	98%	99%	99%	90%	*の各事業のアンケート結果より(抽出)※の平均値		
新規・見直し事業件数	22件	18件	20件	20件	15件	教育普及事業(年報(2)の検討・見直し等の数)					
4-2	学校教育支援の推進	学校・教科主任会などへの講師派遣・館内での講師対応、資料貸出、館内授業や教職員研修、遠足、職場体験等を受け入れ、幼小中高の学校教育を支援します。	学校教育支援事業件数	学校・教科主任会などへの講師派遣・館内での講師対応件数	45件	49件	44件	41件	40件	他機関が主催する講演会・研修会等への講師派遣を除く	
			教員・生徒の満足度	館内授業件数	64件	63件	60件	57件	60件	年報	
				ビデオ上映件数	14件	19件	25件	21件	20件	年報	
				資料貸出件数	81件	53件	33件	27件	30件		
				職場体験学校件数	9件	9件	9件	12件	9件	年報・教育支援Ⅱ2(2)	
			館内授業、資料貸出実施後のアンケートによる満足度	100%	100%	100%	100%	90%	アンケート調査		
4-3	ボランティア活動の充実と活性化	ボランティアの指導・育成に努め、自主的な活動を促し、県民のボランティア活動の充実、活性化を図ります。	活性化に向けた打合せや活動件数	全体会、運営委員会、広報活動等の回数	3回	2回	3回	2回	2回		
			ボランティア研修回数	11回	11回	8回	7回	5回			
			ボランティア登録者数	ボランティアの総数	84名	79名	80名	80名	80名		
			ボランティア活動人数(延べ)	館内におけるボランティア活動人数(延べ)	733名	749名	688名	672名	700名		
				館外におけるボランティア活動人数(延べ)	3名	3名	4名	6名	4名	観音山ファミリーパークのみカウント・資料整理ボラの館外活動はカウントなし	
4-4	友の会活動の充実と活性化	友の会の指導・育成に努め、自主的な活動を支援し、友の会の活動の充実、活性化を図ります。	友の会会員数	友の会の会員総数	370名	367名	382名	363名	300名		
			会員の継続率	当該年度会員に占める前年度会員の割合	67%	62%	53%	68%	60%		
			常設展・企画展観覧者率	観覧者として入館した会員の割合	81%	78%	80%	84%	80%		
			友の会行事への講師支援	1回	1回	1回	4回	1回	長谷川名誉館長 木村生物		

5 情報の発信と公開 (「知を広め、高める博物館」)

活動目標項目	内容	評価指標	指標定義・説明	27年度目標値	27年度実績	28年度目標値	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度目標値	備考
5-1 各種刊行物の充実	研究報告や博物館だよりなどを用いて、積極的に情報発信を行います。	調査研究にかかわる館の刊行物の発行件数	研究報告・調査報告などの発行件数	1件/年	1件	1件/年	1件	1件	1件	1件	1件/年	研究報告
		普及にかかわる館の刊行物の発行件数	図録やポスター、リーフレットなどの発行件数	18件/年	17件	18件/年	23件	27件	27件	21件	18件/年	年報・「6出版①②」
5-2 広報活動の充実	館刊行物の配布ルートの新規開拓や、新規来館団体増加のために、教育委員会や旅行会社等に出向きPR活動を行います。	教育委員会や旅行会社等への訪問件数	教育委員会や旅行会社等へ訪問した件数	30件/年	46件	30件/年	46件	51件	28件	0件	30件/年	県外広報実施時の訪問件数等記載
5-3 インターネットによる情報発信の推進	ホームページやフェイスブックの配信によって、最新のイベント情報提供等の充実を図ります。	HPアクセス数	当該年度のアクセス (Total Visits) 件数	300,000件/年	316,516件	300,000件/年	41131 (1~3月)	1,304,544件	1,104,277件	1,204,553件	300,000件/年	年報
		HPへの情報掲載件数	当該年度の新規作成や更新した件数	60件/年	67件	60件/年	92件	121件	137件	179件	60件/年	年報
		フェイスブックの配信件数	当該年度末時点のフェイスブック配信回数	12回/年	98件	50回/年	133件	143件	145件	147件	145件/年	年報：目標値はメールマガジンの配信回数であるが、フェイスブックに27年度途中から変更したため実績はフェイスブックの配信回数である。
5-4 メディアへの情報資料提供等の推進	企画展や普及行事の案内だけでなく、博物館に関する情報をメディアに積極的に資料提供するように努めます。	メディアへの情報資料掲載件数	県広報等から発信した情報資料の掲載件数 上記以外から発信した情報資料の掲載件数	100件/年	51件	100件/年	58件	31件	21件	32件	20件/年	年報Ⅱ-6出版・広報より抽出
		メディアの取材対応件数	メディアの取材対応件数	50件/年	150件	50件/年	101件	98件	134件	120件	50件/年	年報Ⅱ-6出版・広報より抽出
				20件/年	41件	20件/年	20件	16件	38件	37件	20件/年	年報Ⅱ-6出版・広報より抽出

6 シンクタンクとしての社会貢献（「知を広め、高める博物館」）

活動目標項目	内容	評価指標	指標定義・説明	27年度目標値	27年度実績	28年度目標値	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度目標値	備考
6-1	レファレンス利用者の拡大	レファレンス件数	レファレンス記録DBにおける記録件数	200件/年	204	200件/年	229	212	279	156	200件/年	II2(3)外部からの問い合わせ対応 ①問い合わせ元の職・所属
6-2	自治体および各種機関・団体への専門知識の提供	委員等受諾件数	学会・博物館関連団体の委員等を除く	10件/年	21	10件/年	19	32	26	26	10件/年	III1職員の委員会等就任状況 県・市町村委員（学会、博物館、研究会等を除く）
		機関・団体等への情報提供件数	自治体やその他の機関・団体からの問い合わせによる回答数	—	67	—	78	53	81	29	実績値を記入	II2(3)外部からの問い合わせ対応 ①問い合わせ元の職・所属 民間機関+博物館団体+公共団体
6-3	講師派遣等の推進	講師派遣等件数	幼小中高への出前授業を除いた講師派遣等の件数	20件/年	17	20件/年	36	23	39	24	20件	III2職員の研修会等講師としての派遣の状況（小中高は除く）
6-4	大学教育への寄与	博物館実習等の受入人数		10人/年	9	10人/年	9	11	9	6	実績値を記入	II2(2)⑤博物館実習+⑥博物館実習（インターン）
		学生・院生指導件数	対面による指導件数	—	1人	—	6	6	1	1	実績値を記入	学芸職員に直接聞き取り
		大学生への講義・実習回数	博物館または大学等での実施回数	10回/年	5回	10回/年	5	20	17	17	10回/年	II2(2)①ア大学・高等学校教育への支援
6-5	学会・研究会への寄与	学会等の開催数	学会・研究会の大会・例会・シンポジウム等の開催数	1件/年	1件	1件/年	2	3	1	2	1件/年	II2(4)学会等の開催
		学会等の役員等の受諾数	学会・研究会における役員・委員等の受諾数	5件/年	10件	5件/年	11	13	13	17	10件/年	III1職員の委員会等就任状況（会、研究会、連合、学会）
		学会等加入数	当館が加入している学会・研究会・協議会等の件数	3件/年	4件	10件/年	8	8	8	8	8件/年	学会加入4 協議会加入4
6-6	博物館施設等との連携強化	博物館施設等への資料の貸出件数		15件/年	33件	15件/年	27	24	29	25	15件/年	II3(8)貸出資料
		博物館施設等への助言件数	企画展示調査対応、調査研究対応、各種問い合わせ対応の総件数	10件/年	6件	10件/年	20	19	25	15	10件/年	レファレンス対応もと ファイル (教示で博物館+公共団体)
		連携事業等の実施数	共催、後援、協力を 行った事業総件数	1件/年	2件	1件/年	1	1	1	3	1件/年	I1(5)共催展示(6)協力展示の合計数
		博物館施設等の役員等の受諾件数			6件		3	3	3	3	3件	III1職員の委員会等就任状況（博物館のみ）



7 マネージメント(経営)

活動目標項目	内容	評価指標	指標定義・説明	27年度目標値	27年度実績	28年度目標値	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度目標値	備考
7-1	安全で利用しやすい博物館施設への改善	わかりやすい案内表示とユニバーサルデザインに配慮した、誰もが快適で安全な利用しやすい施設となるよう、日常的な点検・改善を行う。	施設のユニバーサルデザイン化 案内表示等のユニバーサルデザイン化		随時		随時実施	随時	随時	随時	随時	
7-2	観覧者サービスの点検と質的向上	案内業務に係るスタッフの対応状況を点検し、改善を図りながら、観覧者サービスの質的向上に努める。	解説員、案内員の来館者対応の点検 接遇研修の実施	随時	随時	随時	随時実施	随時	随時	随時	随時	
7-3	博物館認知度の向上と利用者層の拡大	広報活動の強化により、博物館の認知度を高め、博物館来館者のエリアの拡大を図る。	認知度向上のための企画立案 利用者層拡大のための企画立案	随時	随時	随時	随時実施	随時	随時	随時	随時	
7-4	職員の意識改革と資質の向上	職員が博物館の使命、役割を認識し、博物館活動の活性化と健全な経営に主体的に取り組める	研修会・学会等への参加 他館視察等の実施	延30件	延9件	延30件	15件	3件	3件	14件	15件	
7-5	博物館支援組織のあり方の検討	「友の会」会員やボランティア等による様々な博物館活動への県民参画の仕組みづくりの検討を行う。	県民参画の仕組みづくりについて検討	随時	運営会議で検討	随時	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	
7-6	博物館活動への理解及び外部協力の獲得	当館が果たしている幅広い役割と活動状況について、広く理解を得る。	博物館予算の確保 企業等からの協力・支援	100%	111%	111%	108%	79%	101%	101%	100%	(財)日本海事科学振興財団、宝くじ
7-7	防災意識の向上と危機管理体制の強化	地震や火災などの発生に備え、文化ホールと連携して防災訓練を実施するとともに、その他様々なシーンの危機管理について完全に備える。	防災訓練の実施 危機管理対策	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	1回/年	2回/年	地震想定、火災想定各1回
7-8	博物館評価システムの構築	博物館活動の活動目標に基づく、自己点検評価、結果の公開という適切な博物館評価システムを確立し、博物館の業務改善に役立てる。	活動目標の設定 自己点検評価 委員会等による外部評価 博物館の業務改善 博物館評価の公開		活動目標設定 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 HPでの公開		目標設定した 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 HP公開済	目標設定した 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 業務改善運動の実施	目標設定した 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 業務改善運動の実施	目標設定した 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 業務改善運動の実施	目標設定する 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 業務改善運動の実施	